

身障系卒業生勉強会を開催しました（2024.10）

2024年11月6日

『第18回神戸大学ホームカミングデイ2024』にあわせて、身障系卒業生勉強会を名谷キャンパスとオンラインによるハイブリッドで行いました。学部4年生、卒後数年から20年のベテラン卒業生、本学身障系教員たちが集いました。

卒後2年目の栗谷美紀さんが「失語・失行・保続を中心に高次脳機能障害を呈した膠芽腫患者の更衣動作獲得に向けた介入検討」というテーマで、自宅退院に向けての整髪・着衣を中心とした介入について報告しました。

参加者からは、「服は着られるようになったのに、ヘアブラシを使えないのはなぜか？」など、多方面から討議がなされ、知識と経験の共有の機会を持ちました。



2024/10/26 Sat

問題点

本症例では…

- ・ **感覚性失語があり、疎通困難。**
→ 評価バッテリー利用困難。
ジェスチャー、模倣によって一部可能もムラあり。機能的訓練は困難。
言語的なフィードバック・行為の言語化は困難。
状況判断は比較的良好。
- ・ **保続もあり、動作の切り替えに難渋。**
→ **部分練習には活かせそう…？**
- ・ **訓練場面での失敗体験を記憶している。**
→ できるだけエラーレスで関わる必要がある。

ホームカミングデー 身障系勉強会

関西医科大学附属病院 リハビリテーション科
作業療法士 栗谷 美紀